

【プロトコル】 試料からの細菌の単離

改訂履歴

- ✓ 2025年7月14日：米田一路
 - v1.0：オリジナル版 v1.0 の作成.

メモ

- ✓ この作業を、菌株の単離および純菌化と言います.

用意するもの

- ✓ 細菌数計数後の培地
 - ✓ 各種細菌選択寒天培地（大シャーレ）
 - ✓ TS寒天（固体）培地（大シャーレ）
 - ✓ TS液体培地（1.5mLチューブに1mL入れたもの）
 - ✓ ループ
1. 細菌数を計数後の培地から、ループを用いてコロニーを釣菌し、各種細菌選択寒天培地に塗り、各種細菌に適した温度および時間培養する.
 2. 1で培養した寒天培地上のコロニーをループで釣菌し、TS寒天培地に塗り、各種細菌に適した温度および時間培養する.
 3. 2で培養した寒天培地上のコロニーをループで釣菌し、TS液体培地に塗り、各種細菌に適した温度および時間培養する.
 4. 細菌懸濁液を-80℃の冷凍庫で保存する.

培地	細菌（コロニー色）	培養温度（℃）	培養時間（h）
Chromocult® Coliform Agar	大腸菌（青）/大腸菌群（赤）	37	24
CHROMagar™ ECC	大腸菌（青）/大腸菌群（赤）	37	24
CHROMagar™ Staph aureus	黄色ブドウ球菌（藤色）	37	24
AccuDia™ NAC Agar	緑膿菌（黄緑）	35	24-48
TS agar/broth	細菌	37（通常）	24（通常）